

II. 調査の結果

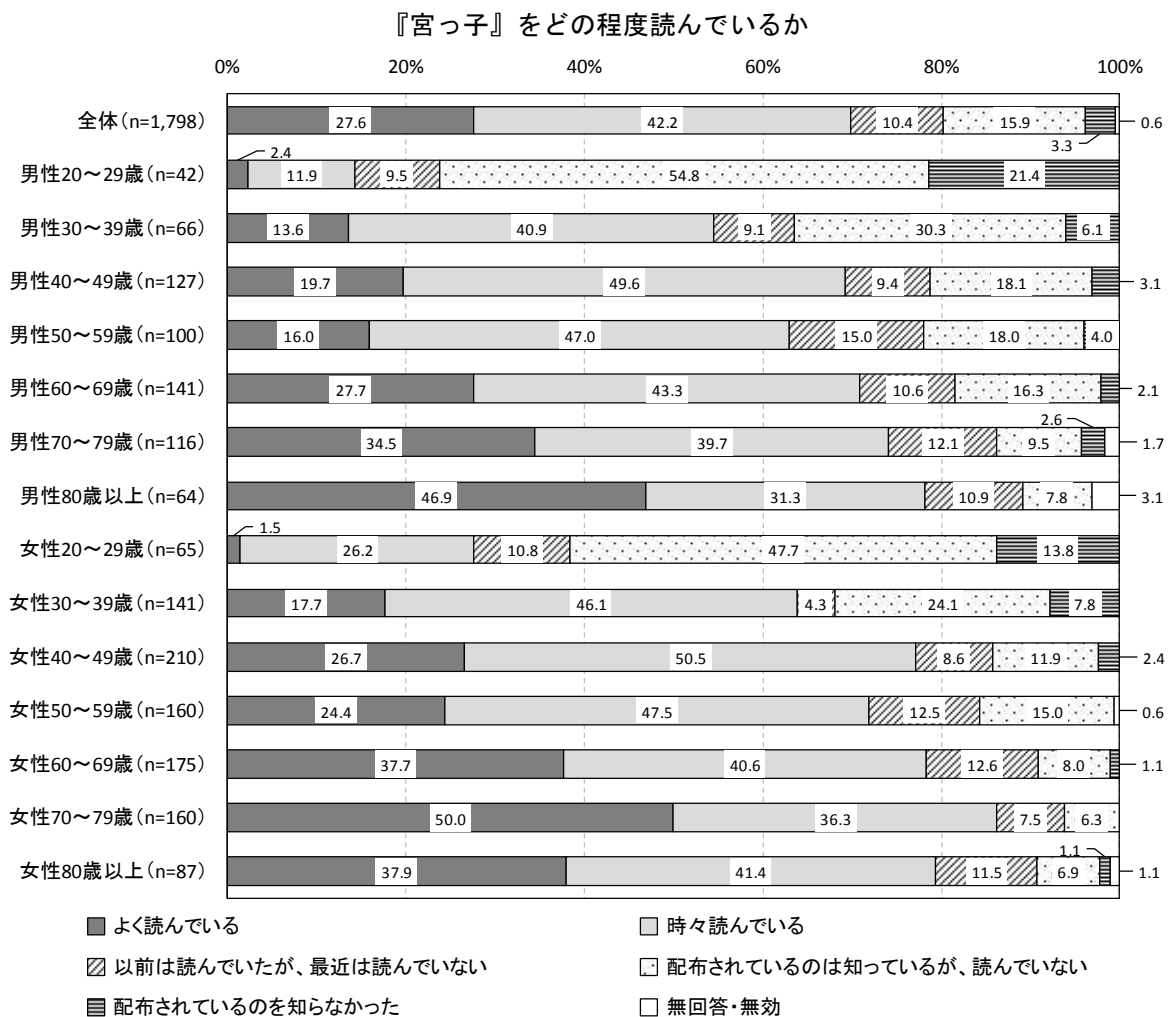
地域情報誌『宮っ子』について

西宮コミュニティ協会は、地域コミュニティを推進するため地域情報誌『宮っ子』を発行しています。この調査結果を今後の誌面づくりの参考にしたいと考えています。

問9 あなたは『宮っ子』をどの程度お読みになっていますか。(1つ選んで○)

『宮っ子』を読んでいる人は約70%。

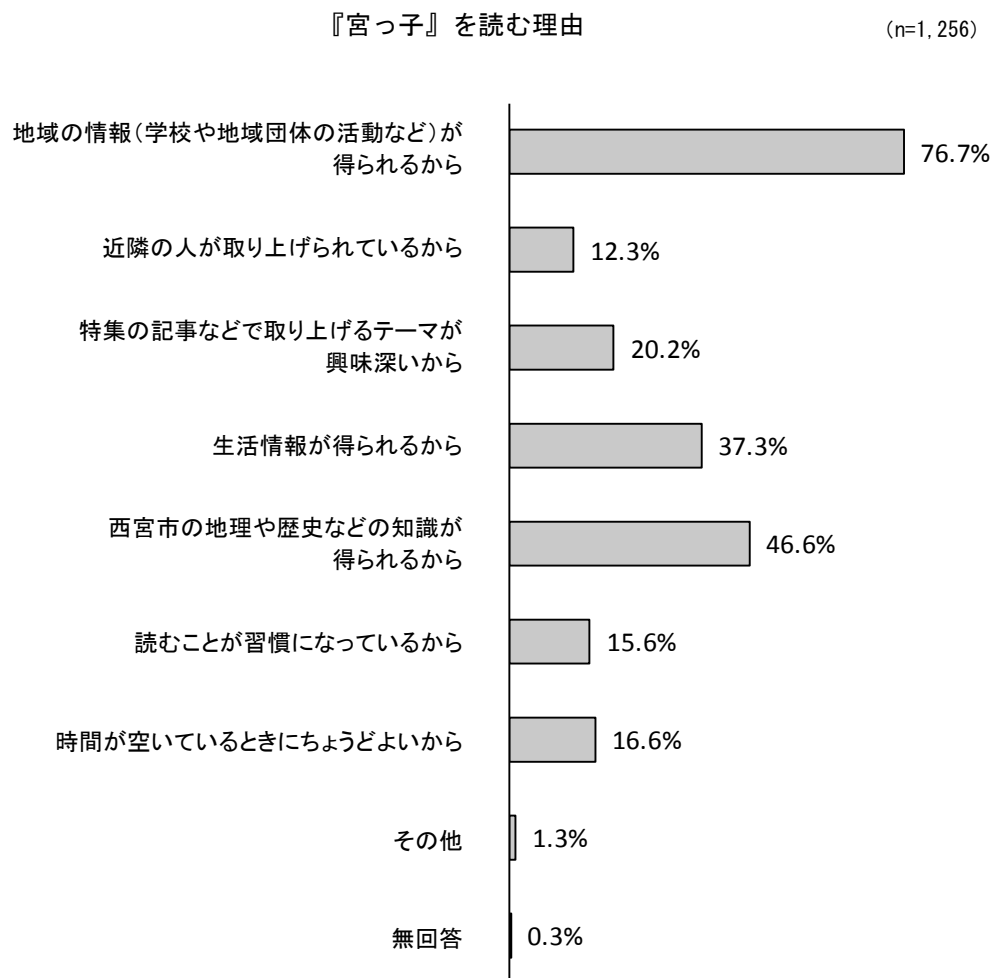
- 『宮っ子』をどの程度読んでいるかについて、回答者全体では、27.6%が「よく読んでいる」、42.2%が「時々読んでいる」と回答しており、合計69.8%が『宮っ子』を「読んでいる」としている。
- 高齢の世代ほど「よく読んでいる」とする割合が高い傾向があり、男性では70歳代で34.5%、80歳以上で46.9%、女性では70歳代で50.0%、80歳以上で37.9%となっている。



問10 問9で、「よく読んでいる」または「時々読んでいる」に○を付けた方にお聞きします。『宮っ子』を読む理由はなぜですか。
(あてはまるものをすべて選んで○)

『宮っ子』を読む理由として最も多い回答は「地域の情報が得られるから」。

- ・ 『宮っ子』を読む理由として、最も多い回答は、「地域の情報（学校や地域団体の活動など）が得られるから」で76.7%、次いで「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」で46.6%となっている。



- 年齢・性別に見る回答の割合は、「地域の情報（学校や地域団体の活動など）が得られるから」が、どの年齢・性別でも高い。「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」は、60歳以上で男女ともに高い傾向にあり、「生活情報が得られるから」は、20～30歳代の女性で、高い傾向がある。
- その他として、主に「子育てのための情報収集」などといった回答があった。

(単位：%)

	地域の情報（学校や地域団体の活動など）が得られるから	近隣の人が取り上げられているから	特集の記事などで取り上げるテーマが興味深いから	生活情報が得られるから	西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから	読むことが習慣になっているから	時間が空いているときなどにちょっとよむから	その他	無回答
全体(n=1,256)	76.7	12.3	20.2	37.3	46.6	15.6	16.6	1.3	0.3
男性 20～29 歳(n=6)	<u>50.0</u>	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	<u>16.7</u>	<u>16.7</u>	<u>0.0</u>	33.3	0.0	0.0
男性 30～39 歳(n=36)	72.2	5.6	<u>5.6</u>	41.7	<u>27.8</u>	<u>2.8</u>	25.0	0.0	0.0
男性 40～49 歳(n=88)	75.0	8.0	11.4	36.4	<u>30.7</u>	10.2	17.0	1.1	0.0
男性 50～59 歳(n=63)	71.4	11.1	23.8	41.3	54.0	6.3	14.3	1.6	0.0
男性 60～69 歳(n=100)	84.0	13.0	27.0	36.0	59.0	11.0	15.0	0.0	0.0
男性 70～79 歳(n=86)	76.7	15.1	26.7	34.9	59.3	16.3	15.1	1.2	0.0
男性 80 歳以上(n=50)	74.0	20.0	30.0	<u>26.0</u>	58.0	18.0	8.0	2.0	2.0
女性 20～29 歳(n=18)	<u>44.4</u>	<u>0.0</u>	11.1	55.6	<u>11.1</u>	<u>0.0</u>	27.8	5.6	5.6
女性 30～39 歳(n=90)	82.2	5.6	<u>3.3</u>	47.8	<u>12.2</u>	7.8	22.2	1.1	0.0
女性 40～49 歳(n=162)	84.0	17.9	12.3	33.3	<u>32.7</u>	14.8	19.1	1.2	0.0
女性 50～59 歳(n=115)	78.3	11.3	13.9	33.0	43.5	21.7	14.8	0.9	0.0
女性 60～69 歳(n=137)	75.9	13.9	27.0	38.7	65.0	19.7	17.5	0.0	0.0
女性 70～79 歳(n=138)	76.1	13.0	30.4	42.8	58.7	24.6	13.0	2.2	0.7
女性 80 歳以上(n=69)	<u>63.8</u>	5.8	24.6	31.9	56.5	21.7	14.5	2.9	1.4

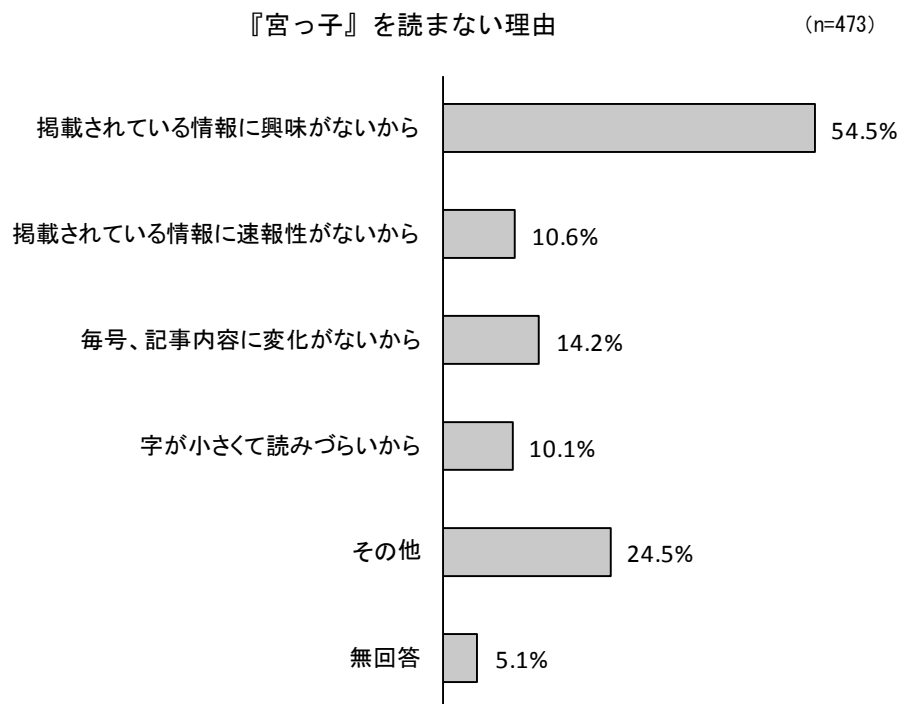
※表内の網掛け部分は、全体を 10 ポイント以上上回るものを示している。

表内の下線斜体部分は、全体を 10 ポイント以上下回るものを示している。

問 11 問 9 で、「以前は読んでいたが、最近は読んでいない」または「配布されているのは知っているが、読んでいない」に○を付けた方にお聞きします。
『宮っ子』を読まない理由はなぜですか。
(あてはまるものをすべて選んで○)

『宮っ子』を読まない理由として最も多い回答は「掲載されている情報に興味がないから」。

- 『宮っ子』を読まない理由として、最も多い回答は、「掲載されている情報に興味がないから」で54.5%、記事内容の変化、情報の速報性、字の大きさについては、それぞれ10%台となっている。



- ・ 年齢・性別に見る回答の割合は、「掲載されている情報に興味がないから」が、80歳以上の女性以外のどの年齢・性別でも高く、その中でも若い世代で高い傾向にある。
- ・ その他として、「時間がない」などといった回答があった。

(単位：%)

	掲載されている情報に興味がないから	掲載されている情報に速報性がないから	毎日、記事内容に変化がないから	字が小さくて読みづらいから	その他	無回答
全体(n=473)	54.5	10.6	14.2	10.1	24.5	5.1
男性 20~29 歳(n=27)	55.6	7.4	<u>0.0</u>	<u>0.0</u>	29.6	7.4
男性 30~39 歳(n=26)	<u>76.9</u>	3.8	<u>3.8</u>	<u>0.0</u>	15.4	3.8
男性 40~49 歳(n=35)	60.0	8.6	14.3	2.9	28.6	2.9
男性 50~59 歳(n=33)	57.6	9.1	<u>0.0</u>	6.1	24.2	12.1
男性 60~69 歳(n=38)	55.3	15.8	21.1	18.4	<u>10.5</u>	5.3
男性 70~79 歳(n=25)	<u>44.0</u>	20.0	24.0	12.0	16.0	8.0
男性 80 歳以上(n=12)	<u>41.7</u>	16.7	16.7	16.7	25.0	8.3
女性 20~29 歳(n=38)	<u>76.3</u>	5.3	7.9	7.9	<u>13.2</u>	2.6
女性 30~39 歳(n=40)	60.0	12.5	12.5	12.5	27.5	7.5
女性 40~49 歳(n=43)	62.8	11.6	14.0	2.3	27.9	0.0
女性 50~59 歳(n=44)	56.8	11.4	15.9	6.8	27.3	2.3
女性 60~69 歳(n=36)	<u>44.4</u>	13.9	16.7	19.4	36.1	0.0
女性 70~79 歳(n=22)	<u>40.9</u>	13.6	<u>36.4</u>	13.6	18.2	4.5
女性 80 歳以上(n=16)	<u>18.8</u>	6.3	18.8	<u>37.5</u>	<u>37.5</u>	12.5

※表内の網掛け部分は、全体を 10 ポイント以上上回るものを示している。

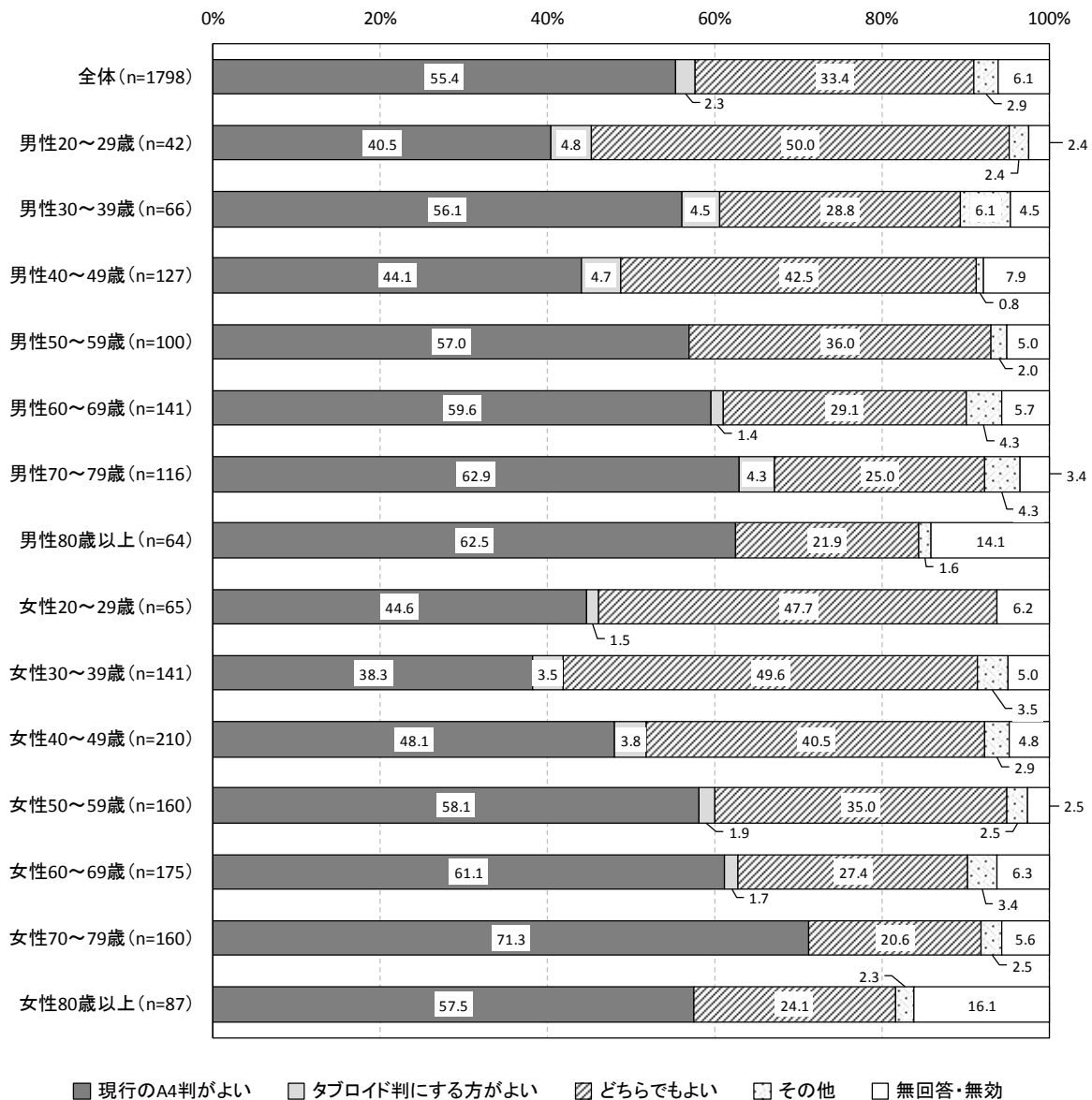
表内の下線斜体部分は、全体を 10 ポイント以上下回るものを示している。

問12 『宮っ子』は、A4判の36ページ（一部地域は40ページ）の冊子にして発行しています。今後の『宮っ子』発行スタイルとしてどのような形が望ましいと思いますか。（1つ選んで○）

『宮っ子』の発行スタイルは「現行のA4判がよい」が約55%。

- 今後の『宮っ子』の発行スタイルとして、回答者全体では55.4%が「現行のA4判がよい」としている。
- 高齢の世代ほど「現行のA4判がよい」とする割合がやや高い傾向にあり、その割合が最も高いのは70歳代の男女で、男性が62.9%、女性が71.3%となっている。
- その他として、主に「薄い方がよい」や「B5判がよい」などといった回答があった。

今後の『宮っ子』発行スタイル

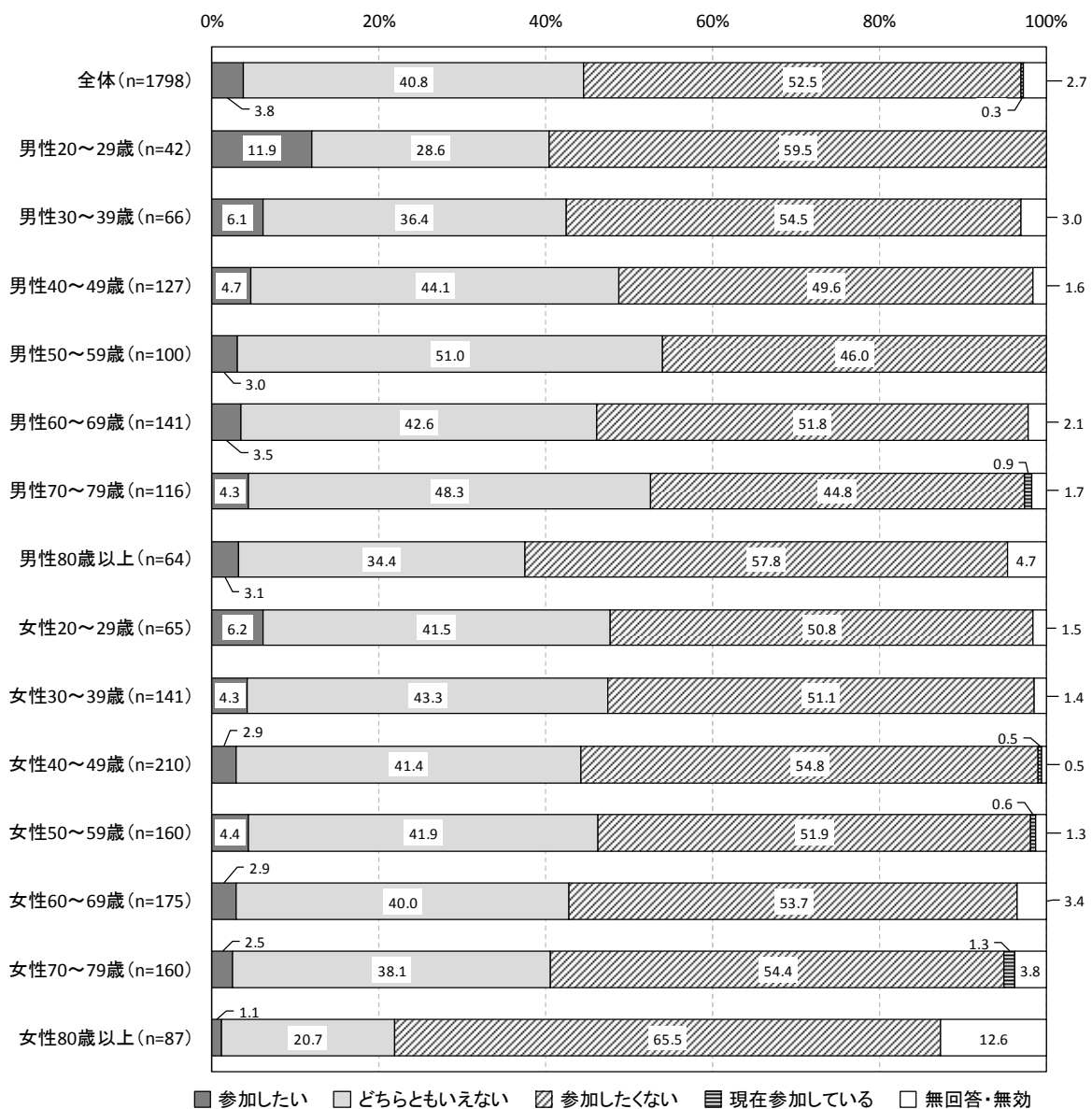


問 13 『宮っ子』は、地域のボランティア編集員が企画、編集している地域の情報誌です。多くの市民が参画することで、身近な情報や地域の魅力を発信することを目指しています。あなたも『宮っ子』の企画、編集に参加したいと思いますか。(1つ選んで○)

『宮っ子』の企画、編集に参加したい人は約4%。

- ・ 回答者全体では3.8%が『宮っ子』の企画、編集に「参加したい」としている。
- ・ 「参加したい」と回答する割合が最も高いのは20歳代の男女であり、男性が11.9%、女性が6.2%となっている。

『宮っ子』の企画、編集に参加したいと思うか



施策に向けての一言 <地域情報誌『宮っ子』について>

『宮っ子』は西宮コミュニティ協会が発行する地域情報誌であり、昭和54年10月の創刊以来、企画、編集、配布の全てを市民のボランティアで行なっている。基本的な構成は全市共通のページ（全市版）と、全市を25の地域にわけ、地域に密着した話題を提供するページ（地域版）となっており、2か月に1回、奇数月に刊行されている。発行部数は約18万7千部とされており、主に市内の各家庭に配布されている。

問9への回答から回答者の約7割が『宮っ子』を読んでおり、一定の認知を獲得していることがわかる。年齢別にみると高齢者ほど読んでいる割合が増える傾向が見てとれる。読む理由を尋ねた問10の回答によると、「地域の情報（学校や地域団体の活動など）が得られるから」との回答が76.7%、次いで「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」で46.6%、「生活情報が得られるから」が37.3%となっている。これらは地域に密着した媒体としての性格がよく表れた結果と言える。

ただしこれらの理由選択においては世代や性別による差が見られる。具体的には20代、30代女性は生活情報を求めて読んでいる割合が相対的に高い。また男女とも60代以上の回答者は、「西宮市の地理や歴史などの知識が得られるから」という回答を選ぶ割合が全体よりも高い一方、男女とも40代以下においてはそのような回答を選ぶ割合が低い傾向がある。つまり相対的に若い読者層をより獲得するためには、生活情報の充実が方策の一つとして考えられるということになるだろう。

問11は、問9において「以前は読んでいたが、最近は読んでいない」または「配布されているのは知っているが、読んでいない」と選択した473名（回答者全体の4分の1強）を対象に、読まない理由を尋ねたものである。ここで54.5%の人々が「掲載されている情報に興味がないから」を選択している。さらなる読者層の獲得という目標を立てるのであれば、この層に対してどのような情報があれば読むのかを尋ねるのがよいだろう。

問12は『宮っ子』の発行スタイル（用紙サイズ）について尋ねているが、回答から見ると現状を変えることに積極的な意見は少ない。もし変えることを考えるのであれば、そのメリットを積極的に広報していくべきであろう。

問13は『宮っ子』の企画、編集に参加したいかどうかを尋ねている。参加を希望する人の割合は約4%と多くはない。年齢別にみると傾向として20代など若い層が「参加したい」と回答している割合が相対的に高いようである。回答の絶対数が多くないので一般化は難しいが、『宮っ子』をより若い世代に浸透させることを目指すのであれば、若い参加者を発掘することは有望な方法であるだろう。

（関西学院大学 山田真裕）